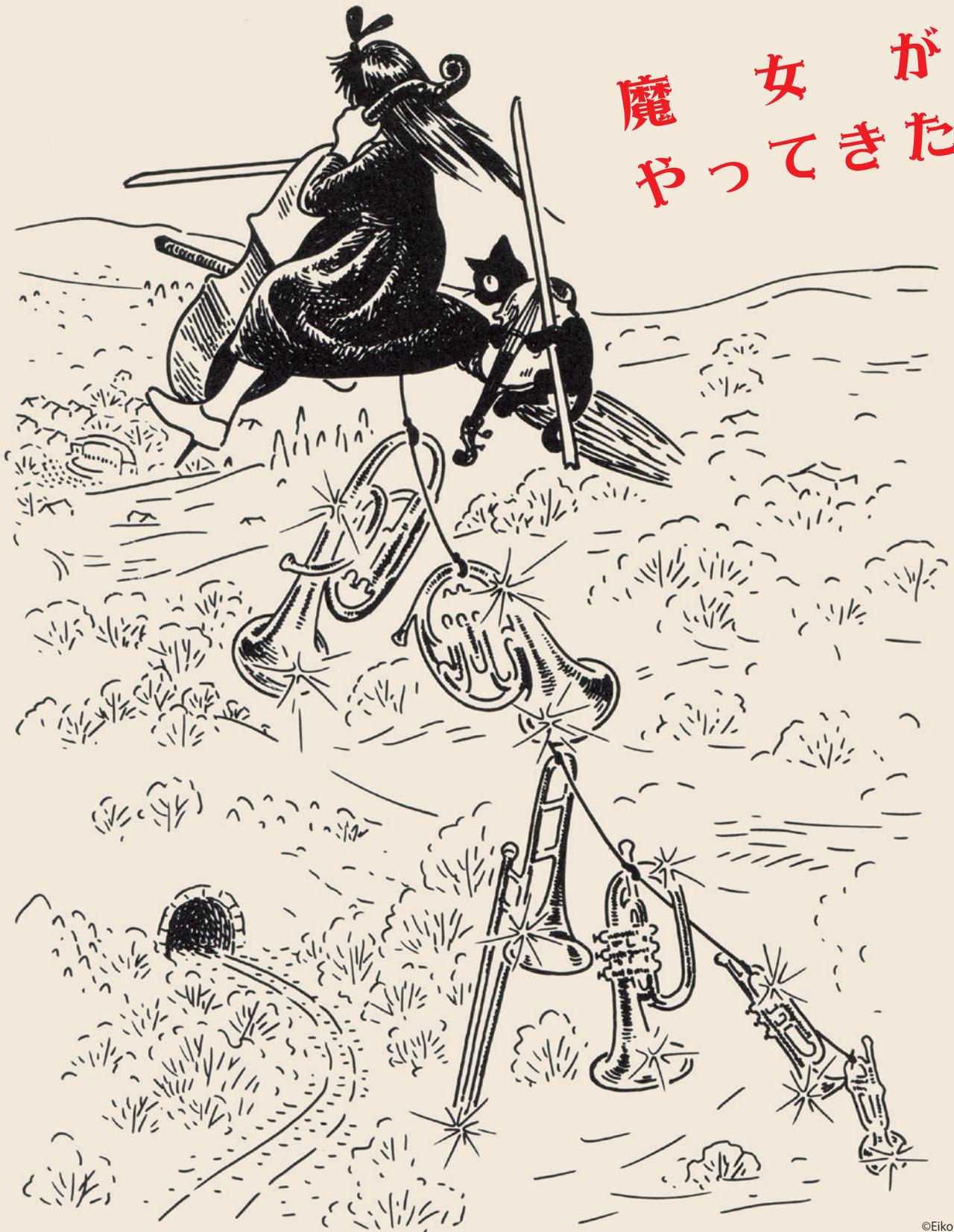


魔 女 が  
や っ て き た



©Eiko Kadono,  
Akiko Hayashi/  
FUKUINKAN

# 角野栄子展

2021年9月4日(土)～10月17日(日) 会期中無休

◎開館時間:9:00～17:00(最終入館16:30)

◎観覧料:一般900円(800円)、高校生450円(400円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金  
※大学生・専門学生は一般料金となります。 ※障がい者手帳をお持ちの方、およびその介助者1名の観覧料は半額となります。  
※お得な年間券は、3,300円で3名様まで1年間何度でもご利用できます。

◎主催:公益財団法人さかた文化財団 酒田市美術館 ○共催:酒田市、酒田市教育委員会 ○特別協力:角野栄子オフィス  
◎企画協力:こどもの広場、スペースボンド ○協力:アリエスブックス、福音館書店、ポプラ社



Sakata City Museum of Art  
酒田市美術館

# 絵

本から児童文学、自伝的小説などさまざまな作品を生み出してきた角野栄子さん。とくに『魔女の宅急便』や『アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ』など、だれもが一度はあこがれる魔法の世界を舞台とした物語は、角野さんの代名詞ともいえるでしょう。2018年には、世界中の優れた児童文学の作家と画家に贈られる「国際アンデルセン賞」の作家賞に、日本人で3人目に選ばれました。角野さんの豊かな想像力からうまれる作品たちは、日本だけでなく世界中で翻訳され、多くの人に親しまれています。

# 本

展示会では、『魔女からの手紙』や『魔女の宅急便』、『アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ』など、人気作品の原画を中心に展示します。これらの原画は、荒井良二やディック・ブルーナ、林明子、佐々木洋子など多くの作家が手がけました。登場人物たちの細かな表情や物語の情景を伝える多彩な原画とともに、角野さんが書いた創作ノートや原稿をまじえて、作家として歩んできた道のりをたどり、多くの作品をうみだすきっかけとなった「想像の源」を追いかけます。



Illustrations  
©Yoko Sasaki/  
POPLAR



Illustrations  
©Yoko Sasaki/POPLAR

## 角野 栄子 (かどの えいこ) プロフィール



1935年、東京に生まれる。出版社に勤務した後、1959年ブラジルに出かけ2年間滞在。1970年、ブラジルでの体験をもとにした『ルイジニョ少年 ブラジルをたずねて』（ポプラ社）を執筆、デビュー作となる。その後も創作を続け、『ズボン船長さんの話』（福音館書店）で旺文社児童文学賞、『大どろぼうブラブラ氏』（講談社）で産経児童出版文化賞大賞、『おはいんなさい えりまきに』（金の星社）で産経児童出版文化賞、『ズボン船長さんの話』と『わたしのママはしずかさん』（偕成社）で路傍の石文学賞受賞、『魔女の宅急便』（福音館書店）で野間児童文学賞と小学館文学賞を受賞、『トンネルの森 1945』（KADOKAWA）で産経児童出版文化賞ニッポン放送賞を受賞した。「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」や『魔女の宅急便シリーズ』など、世代を超えて長く愛される作品を多く持つ。

----- これまでの業績に対して贈られた数々の賞 -----  
2000年紫綬褒章受章、2011年に巖谷小波文芸賞、2013年に東燃ゼネラル児童文化賞、2014年旭日小綬章受章、2018年国際アンデルセン賞・作家賞



©Eiko Kadono,  
Akiko Hayashi/  
FUKUINKAN



©Eiko Kadono,  
Miho Satake/  
FUKUINKAN

## エントランスホールイベント



Illustrations ©Akiko Hayashi

会期中、エントランスホールで自由参加型のイベントを開催しています。ぜひふるってご参加ください。

### みんなでつくる 魔女の思い出ワンピース

着なくなってしまったお洋服の端切れを持ち寄って、魔女のお洋服をみんなでつくってみませんか？

みなさんの思い出のつまった端切れを組み合わせて、魔女のお洋服を完成させてみましょう。

### 教えて！叶えて！見て聞いて！ 魔女への手紙

角野栄子さんの作品のなかで出会った魔女に宛てたみなさんのメッセージを館内で紹介します。魔女に聞きたいこと、お願いしたいこと、伝えたいことなど文字や絵で表現してみてください。

## ワークショップ

### 魔法をえがこう おまじないお絵かき



講師：イシザワエリ  
アートワークショップデザイナー/  
マルイシ工作室 主宰

自慢の流木、思い出のワンピース、いろんな材料を使って自分だけの魔法の杖を作ろう。できあがった魔法の杖を使って「おまじない」を考えて描いてみよう。自分より大きな紙の上で、思いっきり描きながら、魔女・魔法使いになってみよう！

日時：9月4日（土）13：45～16：00

会場：酒田市美術館 市民ギャラリー

★完成した作品は会期中展示します。

定員：10名 対象：5才～小学6年生まで ※1名につき保護者1名同伴必須

申込み：8月28日（土）午前9時より電話にて受付（酒田市美術館 ☎0234-31-0095）

材料費：500円 服装：汚れてもいい服装でお越しください。

持ち物：魔法の杖につけたい思い出のもの（布の端ぎれなど）



魔法使いを  
イメージさせる  
服装で参加してね！



### ■交通案内

JR東日本酒田駅／るるんバス20分・タクシー10分

庄内空港／タクシー約20分

山形自動車道酒田ICより10分

駐車場／無料駐車場有（120台収容）

Sakata City Museum of Art  
酒田市美術館



〒998-0055山形県酒田市飯森山三丁目17番地の95  
TEL.0234-31-0095  
http://www.sakata-art-museum.jp

## お願い

ご来館の際は、マスクの着用、手指の消毒、他の来館者との適切な距離の確保にご協力ください。また、状況により展示会の内容の変更、及び入場制限を行う場合がございます。

最新情報は、酒田市美術館ホームページ、またはFacebookでご確認ください。

※コロナの感染状況により、中止する場合があります。